

(認定) 特定非営利活動法人カレーズの会

国際協力

多文化共生

【団体の概要】

(設立年) 2002年4月 日 (2013年10月4日法人化)
(代表者) 理事 レシャード・カレット
(事務所所在地) 〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1番
70号静岡県総合社会福祉会館2階県ボランティア協会内
(電話番号) 054-255-7326 / FAX 054-254-5208
(E-Mail) karez@chabashira.co.jp
(HP) www.karez.org
(会員数) 307人/団体



(診療所の現地医師と幼い患者)



(乳幼児の栄養不良対策として実施する栄養教育)

【団体の目的】

・この法人は、世界で最も乳幼児の死亡率が高く、子どもの就学率や成人の識字率が低いと言われているアフガニスタン・イスラム共和国（以下「アフガニスタン」という。）への復興支援を、医療と教育面で行い、お互いの顔が見える考え方を基本とした、支援活動を行うことを目的とする。

【活動又は協働の実績】

- ・2002年7月、現地アフガニスタンでNGOとして登録され医療活動を開始。
- ・2008年4月、現在の診療所建物をカンダハール市アイノ・メーナ地区に建設（一部に草の根無償資金協力を活用）
- ・2009年1月、地域医療の拠点（ヘルス・ポスト）を診療所周辺に開設。医師や予防接種員による巡回開始。
- ・2009年8月、カンダハール市アンサリ・メーナ地区に学校を建設（草の根無償資金を活用）、県政府に引き渡す。
- ・2015年3月、日本国際協力システムの助成を受けて乳幼児の栄養不良対策として「栄養教育」の活動を開始。
- ・2015年8月、夜間を含む「出産介助」の活動を開始。今井記念海外協力基金の助成を受けて同事業を2016年4月より事業化。2017年度もふじのくに未来財団の助成金や日本YMCA同盟からの支援金で「出産介助」事業を継続。
- ・2017年2月、診療開始以来の累計患者数が50万人を突破。

【団体からのメッセージ（PR）】

・アフガニスタンでは、国民を苦しめる戦闘やテロが頻発しています。その中、本会は活動地カンダハール市で診療所を運営し、地域の人々に無償の医療サービスを提供していますが、このカレーズの会の活動を通じて人々は平穏な日常や平和、平等な社会の在り方を実感しています。現地事務所にはアフガニスタン企業からの寄附金や市内の薬局から無償の医薬品も提供されており、日本の皆様によるご支援と現地職員を始めとするアフガニスタンの人々による懸命な努力が共働する形で、現地活動が実施されています。アフガニスタンの人々が平穏な日常を取りし、教育を受けた子供達が将来の夢を実現できる社会となるよう、“助かる命に手を差し伸べる”本会の働きに参加して下さいますよう、よろしくお願い致します。